

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 3年 3月 8日

公表: 令和 3年 3月 31日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスととて

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			・適切な基準のもとスペースは確保されています。	・利用定員、スペースとも基準を遵守していますが、昨今のコロナ禍の影響で、子ども一人ひとりのスペースをより広く確保出来るように考えていきます。
	2	職員の配置数は適切である	2	4		・基準人員は満たしているが、より良い支援が出来るように職員の資質向上に努めて参ります。	・人員配置基準は満たしているが、利用者の状況に合わせ、職員の勤務体制の整備を検討していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2	4	・階段等に手すりを設置しています。	・建物の構造上バリアフリー化はされていません。また、賃貸契約のため改装等は出来ませんが、危険な場所を作らないように環境整備に努めて参ります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1		5	・会議の場で意見交換し業務改善に努めています。	・職員で話し合い、意見をまとめながら目標設定をし、振り返りもするように努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		1	・今年度より事業開始したため、初めてのアンケート実施ですが、この結果を元に業務改善に努めていきます。	・今後もアンケートを実施し、保護者様の意向を把握し業務改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			6	・事業所向けの自己評価を行いホームページ等で公開いたします。	・ホームページ以外にも会報などでの公開を検討していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	3	・現在、第三者による第三者評価は行っていません。	・必要に応じ第三者による評価についても検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している			6	・職員の資質向上のために、様々な研修を行っています。	・今後もより良いサービスを提供できるように様々な研修に参加出来るよう努めていきます。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		3	・児童発達支援管理責任者が、お父さま、保護者様からのニーズや課題について伺い、それに沿った計画の作成に努めています。	・定期的に面談を行い、ニーズや課題に沿った計画の作成に努めていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		3	・アセスメントシートを活用しています。	・今後も適宜、見直ししながら最適なアセスメントツールの検討をしていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		1	・職員全体で意見交換を行い、その意見を元に職員全体で検討、決定しています。	・活動プログラムが固定化しないように、立案に関しての体制作りを検討していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		3	・プログラムが固定化してしまうので、まだまだ工夫が必要。	・職員の資質向上に様々な研修に参加し、プログラムの幅を広げていきたいと考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		1	・休日、長期休暇は、課外活動を多く取り入れています。	・きめ細やかに設定しているとは言えないので、まだまだ工夫が必要。

な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	5	・保護者様との面談や会議など話し合いの場を設け作成を行っています。	・子どもの状況に合わせ、適宜見直しながら今後も作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	4	・毎回、職員間で打ち合わせをし、役割分担を決め、必要事項を伝達、共有しています。	・きめ細やかな支援が出来るよう、打ち合わせ時間確保に努めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	・毎回、職員間で振り返りを行い、気づいた点を共有している。	・送迎対応などで支援終了後の振り返りが出来ない場合は、翌日の朝礼を利用し情報の共有に努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	・業務日誌などで日々の支援内容を記録し、今後の支援の改善につなげています。	・お子さん一人ひとりの記録を正しく取り、今後の支援の改善につなげていきたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	・保護者様との面談を行い、個別支援計画の見直しを行っています。	・保護者様のニーズに合わせたモニタリングができる体制を整えていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	4	・ガイドラインに沿った支援が行えるように心がけています。	・基本活動を複数取り入れていけるように今後も検討していきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2		・担当者会議等には児童発達支援管理責任者が出席して情報の提供及び共有に努めています。	・今後も参加し、より良い支援につなげていけるように努めていきます。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1		・学校とは送迎時間などの連絡を電話やFAX等とっています。	・新型コロナウイルスの影響もあり、下校時間の変更も多いため、トラブルなどが起こらないように気を付けていきたい。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			1	5		・対象となる児童の利用はありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1			5	・発達支援センターや保育所等と、お子さんの情報を提供してもらい共有と相互理解に努めています。	・今後も関係機関との連携を図り相互理解に努めます。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			1	・当事業所から障がい福祉サービス事業所へ移行したお子さんには、必要に応じて情報の提供に努めています。	・今後も各関係機関と連携できる体制作りに努めます。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1		1	4	・支援センター主催の研修などの参加は可能な限り参加するように心がけています。	・今後も連携できる体制作りに努めていきます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				6	・現在、交流や活動の機会はありません。	・イベントなど交流の機会を設けられるように検討していきます。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している				1	5	・現在、協議会等への参加はしていません。	・新型コロナウイルスの影響もあり、研修や会議の場はありませんが、依頼があれば出来る限り参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1			5	・連絡帳や送迎時に状況をお伝えし、共通理解に努めています。	・お子さまの状況について、しっかり伝える時間を確保し共通理解に努めていきます。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1			5	・相談を受けた際には、考えられる方法の提案は行っています。	・ペアレントトレーニングといえる支援は行えていませんが、研修参加など職員の資質向上に努めて参ります。	
保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1			5	・契約時に説明させて頂いています。	・必要に応じ補足説明は行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1			5	・保護者様からの相談を受けた場合は出来る範囲で助言や提案をさせて頂いています。	・必要な助言が出来るように職員の資質向上に努めて参ります。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				6	・保護者参加型のイベントを計画させて頂き交流の機会を設けるように努めている。	・保護者参加型のイベントを企画しましたが、コロナ禍もあり保護者参加は中止しました。今後も状況を見て、交流の機会を設けていけるように努めていきます。	

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	4	・苦情に対し迅速かつ丁寧な対応を心がけていきます。	・苦情など、様々なご意見を言える環境整備に努めていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・定期的にてとて便りを発行している。	・子どもたちの活動や様子が保護者様に伝わるように定期的に発行していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	6		・個人情報の取り扱いについては十分留意し業務にあたっています。	・今後も細心の注意を払い業務にあたっていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・様々なツールを活用しながら、意思疎通や情報伝達に取り組んでいます。	・保護者様に正確な情報を伝えられるように職員間での情報の共有にも努めていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			6 ・現状、新型コロナウイルスの影響もあり、地域との交流は出来ていません。	・状況を見て、地域との交流が出来るように検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		6		・各マニュアルについては、必要に応じて周知させて頂きたいと考えております。	・今後も定期的に見直し配布できるように努めていきます。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2		・様々な災害に備え必要な訓練を行っている。	・今後も消防と打ち合わせをし必要な訓練を行っていききたい。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		・虐待に関する内部研修を行っています。	・今後は、状況を見て外部研修にも参加していききたいと考えています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		・契約時に保護者様に説明し、必要に応じた了承を得て記載しています。	・職員会議で十分協議し、保護者様との面談で話し合い決定していききたいと考えています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			1	5	・契約時に保護者様に確認し必要に応じて対応させて頂いております。	・現在、医師の指示書をいただいているお子さんはいませんが、必要に応じて対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3	1		・ヒヤリハットは職員が記録し事業所内で共有している。	・より多くのことに気づき、事故につながることをないよう取り組んでいきます。